

市町村名	粟国村							
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1 -	マハナ崎整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-2-ウ		
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
						- 1 - (1)		
事業内容	景勝地マハナ崎近くに、バリアフリー化のトイレを整備する。							
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）	予算の状況	(a)当初予算額	24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)		
		(b)予算現額	65,482	0	19,560	-		
		(c)増減額(b-a)	62,895	0	37,250	-		
		(d)繰越額	▲ 2,587	0	17,690	-		
		A . 計 (b+d)	-	39,459	-	34,016		
	B . 執行済額		62,895	39,459	37,250	34,016		
		うち交付金充当額	23,436	39,459	3,234	34,016		
		次年度繰越額	18,748	31,567	2,587	27,213		
	執行率（％）(B/A)	39,459	0	34,016	-			
	予算の状況の説明	37.3%	100.0%	8.7%	100.0%			
活動目標(指標)及び達成状況	H25成果目標(指標)		達成状況					
	バリアフリー対応トイレ整備 1棟	目 標	24年度	25年度	26年度	27年度		
			()	(1 棟)	()	()		
		実 績		1 棟				
			目 標	()	()	()	()	
	実 績							
		達成状況説明	平成25年度に実施設計を実施し、平成26年度に建設工事、機械工事、電気工事、土木工事を実施し、バリアフリー対応トイレを整備した。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		バリアフリー対応トイレ整備 1棟	目 標	()	()	(1 棟)	()	()
			実 績			1 棟		
【参考指標】		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
進捗状況説明		平成27年3月末で整備が完了し、平成27年4月から供用開始した。村の文化財指定でもある、番屋原の広場の景勝の地は通称マハナと呼ばれ、渡名喜島、久米島など一望できる観光スポットであり、トイレを設置することにより、景勝地で長時間を過ごすことが可能となり、魅力的で利便性の高い観光地となっている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	観光スポットであるマハナ周辺にトイレがないため、長時間を過ごすことができないことからトイレの整備が要望された。	観光スポットであるマハナ周辺にトイレが整備されたことにより、長時間を過ごすことが可能となり、魅力的で利便性の高い観光地となった。安心して利用されるよう清掃や周辺の緑化等を行いたい。
今後の取り組み方針		
ホームページ、パンフレット等で観光客に対し、バリアフリー化トイレを設置について周知広報を積極的に行い、利用しやすいように周辺の清掃、緑化を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>31,215</td><td>31,215</td><td>24,972</td><td>6,243</td><td>0</td></tr> </table> 栗国村 31,215千円 委託費 4,692千円 工事請負費 26,523千円 永技研(株) 1,458千円 永技研(株) 3,234千円 (株)川平土木 26,523千円 マハナ崎整備事業設計監理委託業務(監理) マハナ崎整備事業設計監理委託業務(設計) マハナ崎整備事業					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	31,215	31,215	24,972	6,243	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
31,215	31,215	24,972	6,243	0										
資金の流 使途の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○ 入札不調が続き設計変更等を見込んだが小規模な変更で済んだ為、不用額は事業費の16%であった。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○ 費目・使途について事業目的達成の観点から必要なもののなか等については額の確定時において確認し適正であった。											

市町村名		粟国村						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		1 - 大正池公園機能拡充事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-2-ウ		
担当部課名		経済課		事業実施(予定)年度	平成25年度	観光客の受入体制の整備		
				沖縄振興基本方針該当箇所		- 1 - (1)		
事業内容		平成24年11月に粟国島内全てが県の鳥獣保護区域を受けており、その中でも大正池公園は年中を通し多くの野鳥が訪れるエリアであるが、公園内の橋やトイレ等が劣化しており、訪れた客への危険性が高いため安全性及び利便性向上に向けた改修工事及び野鳥観察施設設置を行いバードウォッチングエリアとしての機能拡充を図る。						
実施方法		■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				25年度	25年度(繰越)			
		予算の状況	(a)当初予算額	17,738	-			
			(b)予算現額	34,597	-			
			(c)増減額(b-a)	16,859	-			
			(d)繰越額	-	18,708			
			A.計(b+d)	34,597	18,708			
		B.執行済額		15,582	18,251			
		うち交付金充当額		12,710	14,356			
		次年度繰越額		18,708	-			
		執行率(%) (B/A)		45.0%	97.6%			
予算の状況の説明		平成25年度は設計監理委託業務(設計)4,242千円、本工事費(前払い金)11,340千円支出し、資材の入手困難により、工事にかかる設計監理委託業務(監理)1,241千円、本工事17,010千円を26年度に繰り越した。						
活動目標(指標)及び達成状況		H25活動目標(指標)		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
		野鳥観察設備3カ所の設置、トイレ及び宇橋の改修工事	目 標	()	(観察設備3カ所 橋梁1橋 トイレ1基)	()	()	
			実 績		橋梁1橋 トイレ1基			
			目 標	()	()	()	()	
			実 績					
達成状況説明		大正池公園内の橋梁とトイレを整備した。野鳥観察設備は、設計段階で、事業費を大幅に上回ることから、次年度以降の整備とした。						
成果目標(指標)及び進捗状況		H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		野鳥観察設備3カ所の設置、トイレ及び宇橋の改修工事	目 標	()	()	(観察設備3カ所 橋梁1橋 トイレ1基)	()	()
			実 績			橋梁1橋 トイレ1基		
			目 標	()	()	()	()	()
			実 績					
		進捗状況説明		平成26年5月末で整備が完了し、平成26年6月から供用開始した。野鳥観察設備は、設計段階で、事業費を大幅に上回ることから、次年度以降の整備とした。鳥獣保護区として村全域が指定されており、その中でも大正池公園は年中バードウォッチングが楽しめる観光スポットであることから、トイレや橋梁の整備により利便性の向上と魅力的な観光地となっている。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	大正池公園内の橋やトイレ等を整備し訪れた客への安全性及び利便性は向上したが、遊歩道の劣化により園内一部立入禁止処置を行っているため、早期に供用開始できるよう改修工事を実施する。	大正池公園は湿地帯で既設遊歩道が木製のため腐食し、床等が抜け落ちている状態である。また、遊歩道を耐久性に優れた材質で改修工事を実施し客のバードウォッチングエリアとしての拡充を図る。
今後の取り組み方針		
遊歩道改修工事を実施する際、池に多くの野鳥が集まることから野鳥観察小屋も合わせて整備し、村内でも年中楽しめるバードウォッチングエリアとしての拡充を図り、観光スポットとしてHPやガイドブック等で周知活動を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>33,833</td><td>33,833</td><td>27,066</td><td>6,767</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	33,833	33,833	27,066	6,767	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
33,833	33,833	27,066	6,767	0										
栗国村 33,833千円 委託費 5,483千円 永技研(株) 5,483千円 大正池公園機能拡充事業設計監理委託業務(監理) 大正池公園機能拡充事業設計監理委託業務(設計) 工事請負費 28,350千円 (株)沖縄装美工業 28,350千円 大正池公園機能拡充事業														
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○ 不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○ 予算規模については、積算基準に基づいて積算を行っていることから適切であった。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○ 費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については予算の規模は適正であった。											

市町村名		栗国村					
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 -	電気自動車導入支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-2-ウ		
担当部課名	民生課	事業実施(予定)年度	平成 2 5 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
					-1-(1)		
事業内容	観光客の村内での移動手段が自転車のみであることから、観光客の移動手段確保と伸エネルギーの推進に向けて電気自動車の導入及び電気スタンドを設置する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 ■補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	25年度(繰越)			
	予算の状況	(a)当初予算額	27,800				
		(b)予算現額	45,207				
		(c)増減額(b-a)	17,407				
		(d)繰越額	-	31,080			
		A. 計(b+d)	45,207	31,080			
	B. 執行済額		14,126	27,479			
	うち交付金充当額		11,301	21,983			
	次年度繰越額		31,080	0			
	執行率(%) (B/A)		31.2%	88.4%			
予算の状況の説明		設計によりシャッターの工法が変更したことから工事費が増額となったため予算が増額した。また、建築工事に係る入札の不調等で26年度に31,080千円繰り越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	電気自動車購入補助4台、屋根付き電気充電スタンド4基の整備	目 標	()	購入補助4台 スタンド設置4基	()	()	
		実 績		購入補助6台 スタンド設置6基			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	達成状況説明	平成25年度に実施設計を実施し、当初4台の購入補助であったが、観光客や来島者の利用を鑑みて6台へ変更した。平成25年度に観光協会へ電気自動車購入補助金により6台の電気自動車を購入した。設計業務に時間を要したことから、工事は26年度へ繰り越し、屋根付き電気充電スタンド6基の整備を行った。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度
電気自動車購入補助4台、屋根付き電気充電スタンド4基の整備		目 標	()	()	購入補助4台 スタンド設置4基	()	()
		実 績			購入補助6台 スタンド設置6基		
進捗状況説明		平成26年度3月末で建設が完了し、電気自動車の車庫並びに充電の設備が利用されている。観光客や来島者の移動手段が自転車のみであったが、電気自動車の導入により、利便性が向上した。新エネルギーの推進も図られている。電気自動車については、本村で観光事業を展開している一般財団法人栗国村観光協会が管理運営している。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本村には、島内の交通機関がなく、レンタル自転車等が主に活用されていることから、観光客の移動手段確保及び新エネルギーの推進のため、電気自動車の導入と充電スタンドを整備した。 電気自動車車庫の整備については、工事箇所が地域的に集中したことにより、指名競争入札するが辞退者が続き、入札不調のため26年度に繰越して、3回目で落札業者が決定した。 電気自動車の管理運営は一般社団法人栗国村観光協会が行っており、今後は安定的な利用の促進について取り組む必要がある。また、電気自動車の普及を想定し、島外からの電気自動車の持ち込みに対して村内では充電スタンドが1箇所しかないため、利用体制を整えたい。	当初計画より工期が大幅に遅れてしまったが、今後、事業実施に際しては事業関係者とこれまで以上に緊密に意思疎通を図るとともに、不測の事故が発生しても契約期間の延長がないよう余裕を持った工期設定を行いたい。また、レンタカーの安定的な利用促進に向けて、観光協会の取組として、レンタカー利用と体験メニューのセット割引や旅行商品として旅行者と連携するなどの新たな取組が必要である。島外からの電気自動車の持ち込みについての受入を検討し、提供するための利用体制を整える。
今後の取り組み方針		
平成26年4月に供用開始しており、今後は、管理運営している観光協会と連携しながら、適正な管理に努め、安定的な需要と供給ができるよう新たなレンタカー利用のメニューづくりを取り組む。 また、観光客、来島者への周知広報活動や島外からの電気自動車の持ち込みの受入について提供していくため利用体制を整える。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
		44,979	41,605	33,284	8,321	3,374

栗国村
44,979千円

負担金、補助
及び交付金
12,702 千円

一般財団法人
栗国村観光協会
12,702 千円

〔 一般社団法人栗国村観光協会
電気自動車購入補助金 〕

委託料
2,443 千円

株式会社
仲里一級建築士事務所
2,443 千円

〔 電気自動車充電車設計監理委託業
務 〕

工事請負費
26,460 千円

株式会社 大米建設
26,460千円

〔 電気自動車充電車庫新築工事 〕

対象外経費3,374千円(受益者負担)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は、村登録業者から選定しており、妥当であったと考えている。費用・使途については、事業目的の観点から適正であった。予算規模については、適正な規模であったと考えている。 ○予算規模については、積算基準に基づき積算を行い、適正であった。 ○電気自動車購入補助金の受益者(観光協会)は2割負担しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	栗国村						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-	多目的施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強うイ県土づくりと防災体制の強化 -10-(2)	
事業内容	本村が進めている村民と観光客が交流できる施設整備と災害時における村民・観光客等の生命・財産を確保するための避難場所及び非常食等を備蓄する施設を併せた複合施設を整備するとともに、施設備品や災害備蓄品等の購入を行う。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他（ ）						
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	24年度(繰越)	24年度(事故繰越)	25年度	25年度(繰越)
	予算の状況	(a)当初予算額	170,838			61,360	
		(b)予算現額	170,838			62,405	
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	1,045	0
		(d)繰越額	-	154,680	79,857		42,114
		A.計(b+d)	170,838	154,680	79,857	62,405	42,114
	B.執行済額		16,158	74,823	79,615	20,290	39,528
	うち交付金充当額		12,927	59,859	63,691	16,232	31,622
	次年度繰越額		154,680	79,857	0	42,114	0
	執行率(%) (B/A)		9.5%	48.4%	99.7%	32.5%	93.9%
予算の状況の説明		台風や冬型の気圧配置によるフェリーの欠航に伴い、作業員の手配や資材の搬入の遅延の影響等により、工事費、監理費、食料費、備品購入費を合わせ、33,692千円を26年度に繰り越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	目標	多目的施設の整備 (防災用備蓄品、備蓄品の購入)					
	実績	多目的施設の整備 防災用備蓄品、備蓄品の購入					
達成状況説明	平成25年度に多目的施設の整備(外構(貯水タンク、道路と建物の通路))の設計および建築工事を実施し、平成26年度に一部建築工事を繰越し、防災用備蓄品、備品購入を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	目標	()	()	多目的施設の整備完了 防災用備蓄品、備蓄品の購入完了		()	()
	実績			多目的施設の整備完了 防災用備蓄品、備蓄品の購入完了			
	進捗状況説明	本村では、緊急時の避難先としての施設が不足していたことから平成26年度6月末で多目的施設(東ふれあいセンター)の整備が完了し、平成26年9月から供用が開始された。緊急時における避難先として対応できる防災用備蓄を備え、村民及び観光客の生命、財産を確保することができる環境が整えられ、さらに観光客と村民が交流できる場として活用されており、新たな複合施設として利用されている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本村では、緊急時の避難先としての施設が不足しており、また観光客の生命と財産を守り、有事の際の不安を解消する施設の建設が求められていたため整備を行った。 多目的施設の整備については、道路と建物の通路及び貯水タンクの建築工事、防災用備蓄品の購入に、台風等の気象の影響によりフェリーが欠航したため作業員の手配や搬入遅延の不測の時間を要したため、26年度に繰越して事業を実施した。 施設の完成により観光客との交流の場、避難施設・備蓄倉庫を備えた複合施設として今後この施設の活用に向け、観光交流イベントや避難場所としての周知や避難訓練などを実施することに力を入れる必要がある。	当初計画より工期が大幅に遅れてしまったが、今後、事業実施に際しては事業関係者とこれまで以上に緊密に意思疎通を図るとともに、不測の事故が発生しても契約期間の延長がないよう余裕を持った工期設定を行いたい。 避難施設として周知徹底がされるよう避難訓練を毎年行うことや、地域住民と観光客の年間を通じたイベント企画に力を入れる。
今後の取り組み方針		
平成26年9月に供用開始しており、今後は、地域住民と連携しながら、施設管理に努め、安心・安全な避難施設として運営していくと共に、地域住民と観光客の交流の促進を実施し、施設を活用した地域活性化に向けた取組を強化する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>59,818</td><td>59,818</td><td>47,855</td><td>11,963</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	59,818	59,818	47,855	11,963	0																																		
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費																																												
59,818	59,818	47,855	11,963	0																																												
<table border="1"> <tr> <td rowspan="13">栗国村 59,818千円</td><td rowspan="2">委託費 3,570千円</td><td>株式会社松田・伸設計 2,356千円</td><td>(多目的施設設計監理委託業務(設計))</td><td></td></tr> <tr> <td>株式会社松田・伸設計 1,213千円</td><td>(多目的施設設計監理委託業務(監理))</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="2">需用費 696千円</td><td>アースウィング株式会社 696千円</td><td>(多目的施設備蓄用非常食)</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="4">工事請負費 45,637千円</td><td>金秀建設株式会社 44,835千円</td><td>(平成25年度多目的施設新築工事)</td><td></td></tr> <tr> <td>株式会社昭和制作 305千円</td><td>(サイン工事)</td><td></td></tr> <tr> <td>金秀建設株式会社 496千円</td><td>(網戸設置工事)</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="5">備品購入費 9,914千円</td><td>有限会社中島工業 3,240千円</td><td>(厨房機器等購入)</td><td></td></tr> <tr> <td>株式会社安木屋 2,292千円</td><td>(防災関連物品購入)</td><td></td></tr> <tr> <td>株式会社安木屋 3,264千円</td><td>(施設物品購入)</td><td></td></tr> <tr> <td>南西医療器株式会社 594千円</td><td>(AED機器関連購入)</td><td></td></tr> <tr> <td>スタック 523千円</td><td>(カーテン購入)</td><td></td></tr> </table>					栗国村 59,818千円	委託費 3,570千円	株式会社松田・伸設計 2,356千円	(多目的施設設計監理委託業務(設計))		株式会社松田・伸設計 1,213千円	(多目的施設設計監理委託業務(監理))		需用費 696千円	アースウィング株式会社 696千円	(多目的施設備蓄用非常食)					工事請負費 45,637千円	金秀建設株式会社 44,835千円	(平成25年度多目的施設新築工事)		株式会社昭和制作 305千円	(サイン工事)		金秀建設株式会社 496千円	(網戸設置工事)					備品購入費 9,914千円	有限会社中島工業 3,240千円	(厨房機器等購入)		株式会社安木屋 2,292千円	(防災関連物品購入)		株式会社安木屋 3,264千円	(施設物品購入)		南西医療器株式会社 594千円	(AED機器関連購入)		スタック 523千円	(カーテン購入)	
栗国村 59,818千円	委託費 3,570千円	株式会社松田・伸設計 2,356千円	(多目的施設設計監理委託業務(設計))																																													
		株式会社松田・伸設計 1,213千円	(多目的施設設計監理委託業務(監理))																																													
	需用費 696千円	アースウィング株式会社 696千円	(多目的施設備蓄用非常食)																																													
	工事請負費 45,637千円	金秀建設株式会社 44,835千円	(平成25年度多目的施設新築工事)																																													
		株式会社昭和制作 305千円	(サイン工事)																																													
		金秀建設株式会社 496千円	(網戸設置工事)																																													
	備品購入費 9,914千円	有限会社中島工業 3,240千円	(厨房機器等購入)																																													
		株式会社安木屋 2,292千円	(防災関連物品購入)																																													
		株式会社安木屋 3,264千円	(施設物品購入)																																													
		南西医療器株式会社 594千円	(AED機器関連購入)																																													
		スタック 523千円	(カーテン購入)																																													
資金の流 点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明																																													
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。																																													
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○ 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。																																													
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○ 予算規模については積算基準に基づいて適正な積算を行った。																																													
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。																																														